

銀座熊本館 旬館だより

- 4月号 -



©2010熊本県くまモン
くまもと花とみどりの博覧会
イメージキャラクター「くまモン」

《発行》2022年4月
熊本県東京事務所
くまもとセールス課
〒104-0061
東京都中央区銀座5丁目3-16
銀座熊本館3階
☎03-3572-5021

～熊本県の棚田をご紹介します～

傾斜地の多い熊本県には県内各地に棚田があり、今年2月に農林水産省の「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」では新潟県に次ぐ第2位17カ所が選ばれました。その中から4カ所を紹介いたします。

【1】扇棚田〔産山村〕JR宮地駅から車で30分

原生林の中にひっそりと佇む山吹水源の水を導水している扇棚田は、「日本の棚田百選」から引き続き今回も選ばれています。さらに「うまい米づくり百選」にも選ばれています。文字通り扇型に広がる17枚の棚田とそこに建つ3本の杉の木は、全国のカメラ好き家の格好のフォトスポットとなっています。

(問) 産山村観光協会 0967-25-2211



扇棚田

【2】番所の棚田〔山鹿市〕九州自動車道「菊水IC」から約25分

熊本県随一の彼岸花の名所、旧菊鹿町番所地区の斜面に200枚もの石積みの棚田が広がります。田んぼの境目の畔には彼岸花が植えられ、この花が咲く9月中旬から下旬には彼岸花の赤と稲穂の黄色が鮮やかなコントラストを描きます。古い家並や石垣も残るこの地区は開花時期には多くの観光客が訪れます。

(問) 菊鹿市民センター 0968-48-3111



番所の棚田

【3】久木野校区の棚田群〔水俣市〕水俣市役所から車で約20分

水俣市の東部寒川水源を用いて開墾された久木野学校エリアに広がる棚田。特に石積の美しさが特長です。棚田は稲作が中心であることはもちろんですが、一部休耕地では花菖蒲・紫陽花を植栽し、棚田花公園となっています。毎年田植えで水を張る時期の夜には2000本もの竹の松明が棚田を彩り、幻想的な風景を浮かび上がらせます。

(問) 水俣市農林水産課 0966-61-1634



竹の松明を灯す棚田の灯り

【4】阿蘇水掛の棚田〔阿蘇市〕JR宮地駅から車で約20分

弥生時代から始まったと言われる阿蘇市水掛地区の棚田。しかし、住民の高齢化、後継者不足から耕作が出来なくなり25年以上にわたる長い間休耕地となり、荒れ果てた原野になっていました。「もう一度棚田を」と地元有志・団体が平成23年(2011年)棚田の再生活動を開始。雑草や竹林を切り、崩れた石垣の修復などを行い、8年もの開墾期を経て復活。見事「つなぐ棚田遺産」に認定されました。現在は棚田の維持に棚田ごとの稲の育成状況や水位データ管理などをスマホで行うなど最新の技術を棚田継承に取り入れています。

(問) 公益財団法人肥後の水と緑の愛護基金 096-351-3882



阿蘇五岳を臨む水掛の棚田

【お願い】各地の棚田は地元営農者の生活の場としての田圃です。カメラの三脚を水田に刺したり、撮影のため農作業の中止を求めたりなどの行動は、ご遠慮ください。

今月の市町村！芦北町

今月は観光うたせ船を運航し、人気アニメ「放課後ていぼう日誌」の舞台となり『訪れてみたい日本のアニメ聖地88 2022』にも選ばれた芦北町をピックアップ！

◆観光うたせ船

慶長2年(1597年)に南蛮船が寄港した記録も残る古くからの港・佐敷港を拠点に不知火海を優雅に航行する白い帆かけ船です。それはさながら海に浮かぶ白いドレスを纏った貴婦人。本来は赤足エビや太刀魚等を獲る漁船ですが、4月中旬から11月末にかけて観光船として使用されます。所要時間は3時間。ご希望の方には船上からの太刀魚釣りや船上料理も味わえます。(追加料金要)

(問) 芦北町漁業芦北支所 0966-82-2066



観光うたせ船

◆「放課後ていぼう日誌」

月刊ヤングチャンピオン烈に掲載中の漫画「放課後ていぼう日誌」は2020年全国放映されましたが、その舞台となったのが芦北町です。モデルとなった堤防、海水浴場、高校、芦北大橋等へ「肥薩おれんじ鉄道」に乗って聖地巡礼してみませんか？ なお、主人公が通う海野高校のモデルとなった芦北高校は昨年開校100周年を迎えました。

※個人所有の敷地、学校等には許可なく入り込まないようご注意願います。

※聖地巡礼マップを当館観光コーナーに用意しております。

(問) 芦北町観光協会 0966-82-2511



肥薩おれんじ鉄道
「放課後ていぼう日誌」ラッピング列車

◆薩摩街道と佐敷城址

鹿児島から薩摩街道の最大の難所と言われた佐敷太郎峠を越えると城下町佐敷。佐敷城は鹿児島との境を守る境目の城として16世紀後半に築られました。現在は石垣が復元され、歴史公園となっています。また、佐敷の街並みは古い土蔵や商家の看板などが今も残ります。建物が通りに対して斜めに建てられている様は「のこぎり家並」と呼ばれ、敵を待ち伏せするためのものと言われています。

(問) 芦北町観光協会 0966-82-2511



薩摩街道の佐敷宿

◆足赤エビ

足赤エビはこの町の特産。当地周辺以外には出回らないため“幻のエビ”とも称されます。観光シーズンでない冬の間、うたせ船を使って足赤エビの漁が行われます。味は県の魚・クルマエビに負けないほど大きく、甘みが強いのが特長です。観光うたせ船に乗った後は地元の食堂で是非足赤エビのお刺身、天ぷらやフライをお楽しみあれ。

(問) 芦北町観光協会 0966-82-2511



足赤えび天丼



お知らせ

◆くまもと花とみどりの博覧会◆ 開催時期: 2022年3月19日(土)~5月22日(日)

昭和58年(1983年)から全国各地で開催されている日本最大級の花とみどりの祭典。熊本では「クマモトグリーンピック'86」以来36年ぶり2回目の開催となります。熊本市内3つのエリアがメイン会場ですが、県内全ての市町村がパートナー会場となり、花と緑で彩られます。

①街なかエリア…熊本城公園及び花畑広場一帯

当花博のフラワー・アンバサダーであるニコライ・バーグマン氏監修の大花壇が花畑広場に登場。全長180mもの大花壇は熊本の花卉を使用。随時入替を行いながら訪れる人の目を楽しめます。

②水辺エリア…水前寺江津湖公園一帯

熊本市動植物園の植物ゾーンが35年ぶりにリニューアルされます。大花壇を新しくし、江津湖の美しい眺望を楽しめる「展望デッキ」の他、江津湖の生き物や文化を学習できる「水辺のインフォメーションセンター」、豊富な湧水を感じられる「水景施設」が新設されます。

③まち山(立田山)エリア…立田山

市民憩いの里山として親しまれる立田山では憩の森お祭り広場に木材を利用した大型アスレチック遊具を整備。期間限定で秘密基地”ツリーハウス”も出現。グランピング体験も楽しめます。



©2010熊本県くまモン

